

1 策定の趣旨・計画期間

【策定の趣旨】

令和4年3月に総務省から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示されました。ガイドラインでは、個々の公立病院の経営が持続可能となり、明確化・最適化した役割・機能を発揮し続けることが可能となるよう、経営強化の取組を進めていくことが必要とされています。このガイドラインを踏まえ、病院事業の経営強化に総合的に取り組むために策定します。

【計画期間】

令和6年度から令和9年度までの4年間

2 病院の概要

【主な役割及び機能】

東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供

【重点医療】

救急医療／周産期医療／がん医療／精神科医療・感染症医療／緩和ケア等

【病床数】（令和5年4月1日現在）

553床（一般501床・結核13床・精神33床・感染症6床）

3 役割・機能の最適化と連携の強化

（1）地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

・岐阜県地域医療構想に基づき、東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供します。

・精神医療について、身体合併症を有する患者の治療を中心に医療提供を行うとともに、圏域内の単科病院とも連携しつつ、総合病院としての精神医療の提供に努めます。

■一般病床及び療養病床の機能別病床数

時点※	高度急性期	急性期	慢性期	合計
令和5年	269床	213床	19床	501床
令和7年	267床	201床	19床	487床
令和9年	267床	201床	19床	487床

■精神病床の病床数

時点※	精神病床
令和5年	33床
令和7年	33床
令和9年	33床

※令和5年 プラン策定時
令和7年 地域医療構想
令和9年 プラン最終年度

（2）地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

・転院先や施設への訪問活動等を実施し、地域の関係機関との連携をさらに深め、急性期後の後方病床への円滑な転院や、介護福祉施設への入所、在宅療養への円滑な移行など、必要な体制を強化するとともに、退院支援に努めます。

（3）機能分化・連携強化

●近隣の医療機関等との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上

・多治見シャトル（病診連携システム）、たじみのネット（地域医療連携ネットワークシステム）を効果的に活用し、近隣医療機関等との連携を深め、紹介・逆紹介を促進します。

●地域連携クリニカルパス

・地域医療連携推進協議会等を通じ、医師会、行政機関等に働きかけ、地域連携クリニカルパスの運用を促進します。

（4）一般会計負担の考え方

・当院の果たすべき役割・機能に応じ、総務省が示す繰出基準の範囲内で負担を求めます。

(5) 住民の理解のための取組

- ・ホームページや病院広報誌の他、地域情報誌やSNS等を活用した情報発信を行います。
- ・地域住民等と病院とで構成する「岐阜県立多治見病院運営協議会」を開催し、病院運営、患者サービス等に関するニーズや意見を把握します。

4 医師・看護師等の確保と働き方改革

(1) 医師・看護師等の確保

●医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保

- ・従来から実施している看護職員修学資金貸付制度、ガイダンスへの参加等に加え、当院看護部のホームページや、就職情報サイトの活用等により、看護職員の確保に努めます。

(2) 医師の働き方改革への対応

- ・医師の健康管理を促進し、質の高い医療サービスの提供に資するため、「医師労働時間短縮計画」に基づき、労務管理、健康管理、労働時間短縮に向けた取組を行います。
- ・三次救急医療機関としての当院の役割に鑑み、「地域医療確保暫定特例水準」（B水準）での体制を考慮します。

5 経営形態の見直し

【地方独立行政法人化の成果】

平成22年4月1日に地方独立法人なり、新規事業の是非や、組織体制の見直し、人員配置など経営方針決定までの時間が大幅に短縮され、地域の医療ニーズや制度改正に対する迅速な対応が可能となりました。

6 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

●感染症指定医療機関としての役割の発揮

- ・第二種感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制及び設備の整備を図ります。また、東濃地域の医療機関に対し、医療情報の提供など指導的な役割を担います。

7 施設・設備の最適化

(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

●新中央診療棟などの施設の計画的な整備

建設整備を進めていた「新中央診療棟」が令和6年1月に竣工しました。（令和6年4月30日開設予定）

今後計画している既存棟の改修等についても、工事内容を精査し、適正な競争入札による整備費の抑制に努めます。

(2) デジタル化への対応

●サイバー攻撃対策

- ・様々な種類が増えてきたサイバー攻撃に対しては、引き続きセキュリティ対策を講じ、関係職員のスキルアップに努めます。

8 経営の効率化等

(1) 経営指標に係る数値目標

項目	令和4年度(実績)	令和9年度(目標)
経常収支比率	96.8%	98.0%
修正医業収支比率	91.8%	93.0%
新規入院患者数（1日平均）	36.1人	38.0人

(2) 目標達成に向けた具体的な取組

●収入の確保

- ・診療所等との連携強化により、新規入院患者の増加等による病床利用率の向上や、退院調整の推進等により在院日数の適正化を図ります。
- ・新中央診療棟の開設に伴い、手術室が増設されることにより、手術件数の増加による収益確保に努めます。

●費用の削減

- ・診療材料共同購入において、安価な汎用医療材料への切替だけでなく、各診療科専門分野の診療材料についても切替を検討し、費用削減を図ります。

9 県立病院としての役割

- ・政策医療等の公共的役割を継続して担います。
- ・医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療確保対策として、東濃地域等の医師不足の医療機関や、へき地医療機関への診療支援を継続して実施します。